

鏡石古墳の発見

多くの遺跡は、山林や畑地を開発する中で発見されている。遺跡保護の観点から、開発業者には開発地の調査が義務づけられている。

今から五十年ほど前、県道下久屋～渋川間の道路拡張工事が行われた。工事を進めていくと畑地で人骨や埴輪片が発見され、県文化財保護課と村教育委員会は急ぎよ遺跡調査を行った。

発見された遺跡は六世紀に噴火した榛名山の軽石で二メートルほど埋まっております、その頃に造られた古墳であることが分かった。発見された畑地の小字名から「鏡石古墳」と名付けられた。

鏡石古墳は、直径七・二メートルの小型な円形墳であり、河原石で積まれた凸型の二段構造であった。墳丘(古墳の上部)は河原石で作られ、表面は人頭大の石がきれいに積み上げられていた。

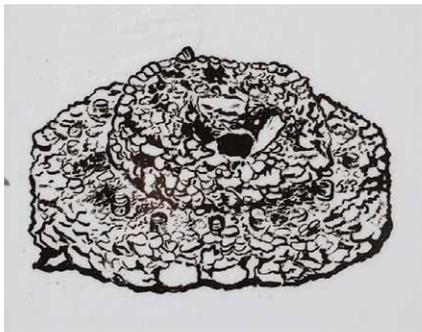
本古墳には幾つかの特色がある。一つには、古墳の上部には家形埴輪が置かれ、下段の平坦な面には円筒埴輪が巡らされている。二つめには、埴輪の並べ方や形象に特色がある。三つめとして、出土した杯、壺の整形

技法などから、千葉県で出土した五世紀から七世紀のものに似ている。四つめとして、上段の中央には大人一人が横になれる竪穴式石室が造られている。また、近くで人骨が収集され、年齢は四十歳～五十歳ほどの男女一対のものであるという鑑定が出ている。以上のことなどが特色として挙げられている。

小規模な古墳であるが、他地域の古墳との類似性や土器の年代を調べるのに貴重な資料となっている。本調査は県道の工事を進める都合上、二週間ほどで行われた。調査終了後は土盛りが行われ、再び地中にて保存されることになった。

参考 群馬の古墳物語(上毛新聞社)

鏡石古墳発掘調査報告書



地下に眠る古墳(イメージ図)

昭和村ボランティアガイドの会

理事 堤 義樹



地域包括支援センターだより

ほほえみノートとは？

あなたの日々の様子や 体調を記録

ノートの情報を関係者で共有し、よりあなたにフィットした医療と介護に！

あなたの意思を 代わりに伝えます

あなたの理想の人生を書きましょう。あなたが話せない時はノートが代わりに伝えます。

災害や緊急時にも 役立ちます

電子カルテが機能しなくても、あなたの大切な情報はノートに書いてあります。

ご自宅で暮らしながら、介護サービスを利用中のみなさまへ

あなたのための医療と介護の連絡帳

ほほえみノート

お持ちですか？

医療機関・歯科医院・薬局介護施設では、ほほえみノートの提示をお願いしています。

在宅支援ノート

ほほえみ

年月日～年月日

お名前



問合せ 地域包括支援センター ☎20-1126

